

委員会の役割及び運営

木津川市環の拠点創出事業準備委員会事務局
平成25年2月14日－第1回委員会

I 委員会の設置目的

【設置及び目的】条例第1条
「木津川市山城町上狛地域
が築いてきた「茶文化」を活
かし、観光と地域間交流の
拠点を創出する。」



環の拠点(拠点施設)

イメージ

地域資源
(茶文化、歴史的街並)



マッチング

ニーズ
(サイクリスト、地元地域)

Ⅱ 委員会の概要①

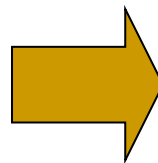
【委員会の所掌事項(役割)】*条例*第2条

① 環の拠点創出事業に関する調査及び審議

② ①の結果を市長に提言すること

具体的に・・・

調査	審議
○地域資源 ○ニーズ	○拠点の位置 ○導入機能 ○運営方法 等



提言書

Ⅱ 委員会の概要②

【委員会の組織】条例第3条

委員12人以内で構成します。(現在は、11名です。)

(敬称略)

種別	氏名	構成団体
第1号委員	福井 保知	上狛南部地域
第2号委員	山崎 正史	立命館大学理工学部
	岡井 有佳	立命館大学理工学部
第3号委員	川邊 隆司	山城茶業組合
	坂本 利正	木津川市観光協会
	杉野 耕造	自転車産業関連
	辻 忠	山城町ふるさと案内人の会
	出栗 伸幸	サイクリング愛好家
	花田 啓	京都やましる農業協同組合
	藤原 久博	木津川市山城町商工会
	吉村 由美子	サイクリング愛好家

《第1号委員》
地域住民の代表者

《第2号委員》
識見を有する者

《第3号委員》
その他市長が認める者

※任期：平成26年3月31日

Ⅱ 委員会の概要③

【委員会の会議】条例第6条、第8条

- ①委員の半数以上の出席で成立します。
- ②議事は出席委員の多数決で決し、同数の場合は議長が決定します。
- ③委員会は、公開とします。(会長が必要と認めるときを除く)
- ④開催予定は事前に公開し、傍聴者を受け入れます。
- ⑤会議資料と会議結果は事後公開します。
※発言者を特定せず、議事の要旨を記載します。

Ⅲ 委員会の運営

【運営内規】※別紙2

運営内規に基づいて運営します。

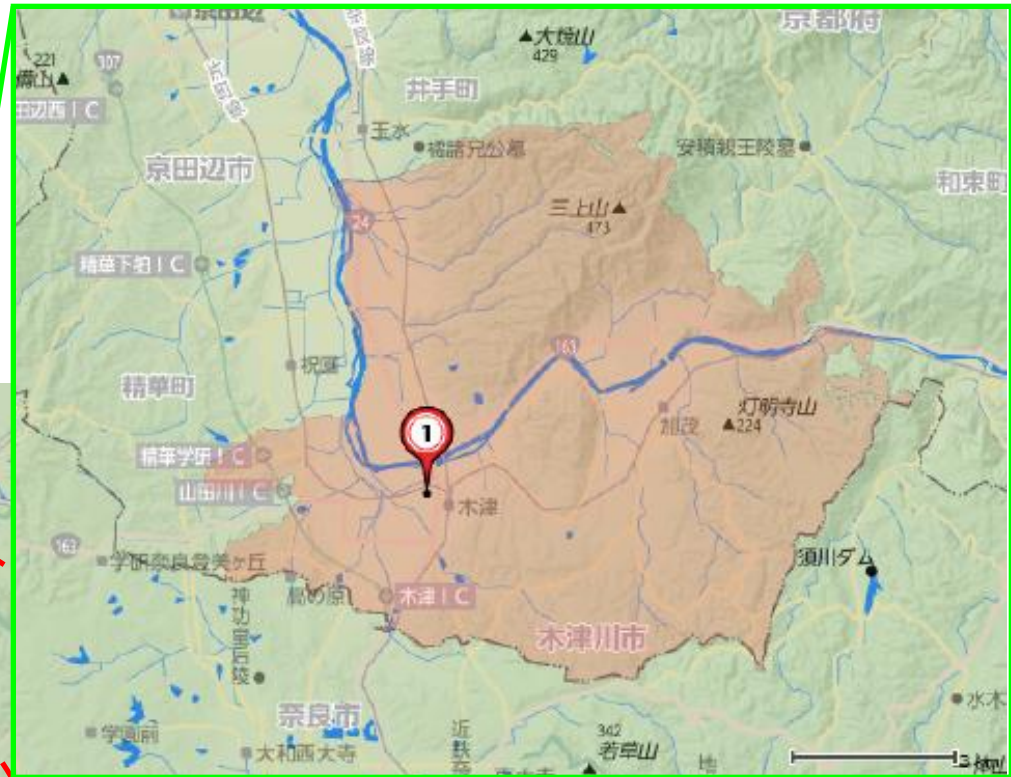
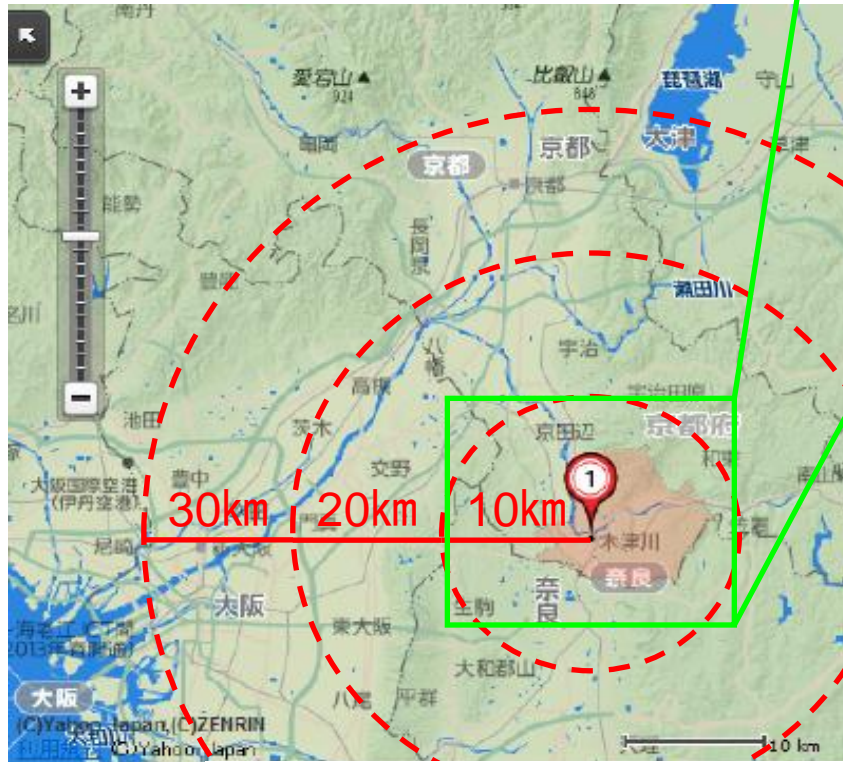
- ①委員が事前に指名する者の代理出席を認めます。(委員同様、議事に参加できます。)
- ②会議結果の確認方法(会長及び会長が指名する出席委員の2名が署名)を定めています。
- ③会議の公開の方法などを定めています。
- ④傍聴者の遵守事項を定めています。

環の拠点創出事業の概要

木津川市環の拠点創出事業準備委員会事務局
平成25年2月14日－第1回委員会

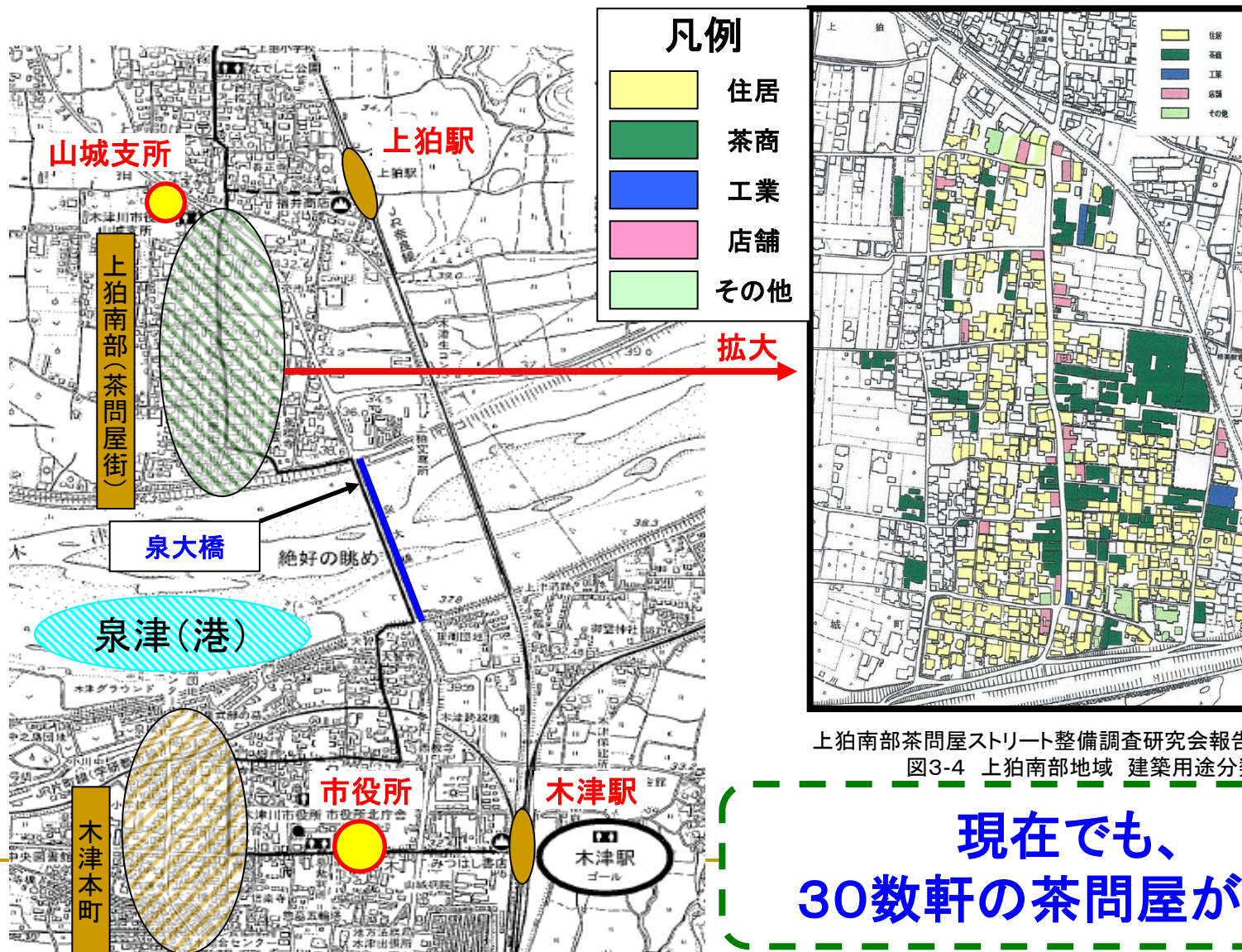
I 事業の背景(歴史的背景)

木津川市は、京都と奈良を結ぶ
奈良街道等の陸路と、木津川より
淀川を経て大阪・神戸へ繋がる水
路が交差する要衝として、古くから
商業が盛んな地域でした。

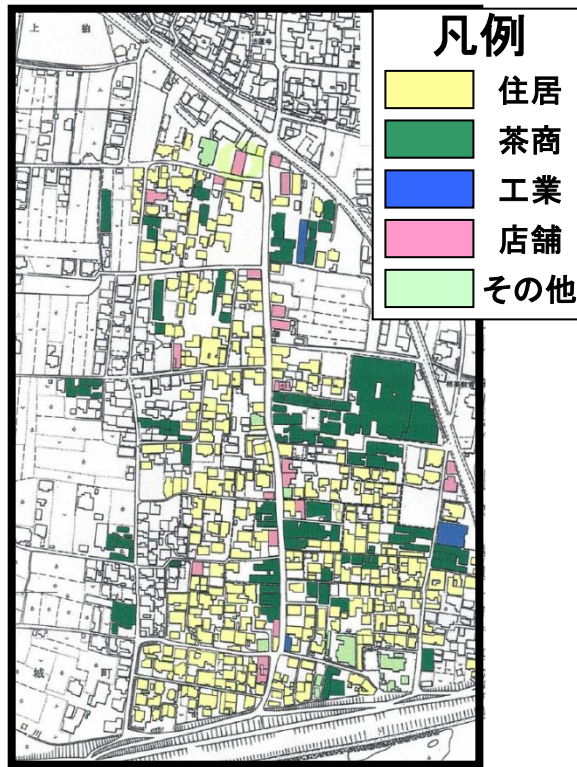


また、近畿のほぼ中央に位
置し、大阪・京都・大津などの
主要都市が30km圏内にある
大変利便性が高い地域です。

I 事業の背景(歴史的背景)

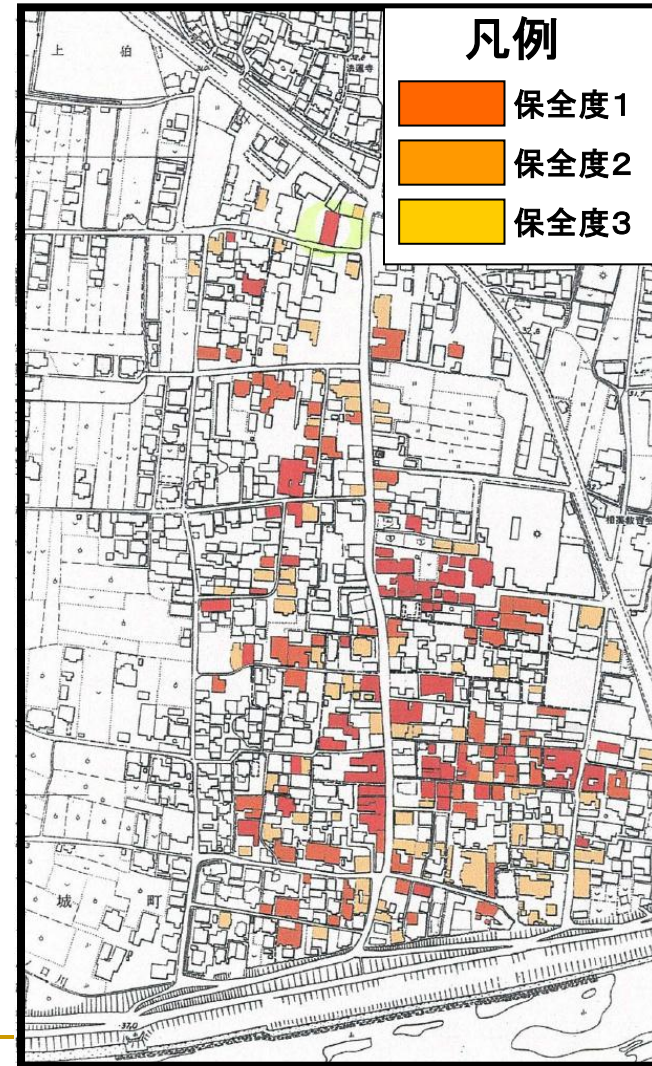


I 事業の背景(歴史的背景)



上粕南部茶問屋ストリート整備調査研究会報告書(平成15年3月)
図3-4 上粕南部地域 建築用途分類分布図

茶問屋を中心に、
伝統的木造建築物が集中
歴史的景観を形成



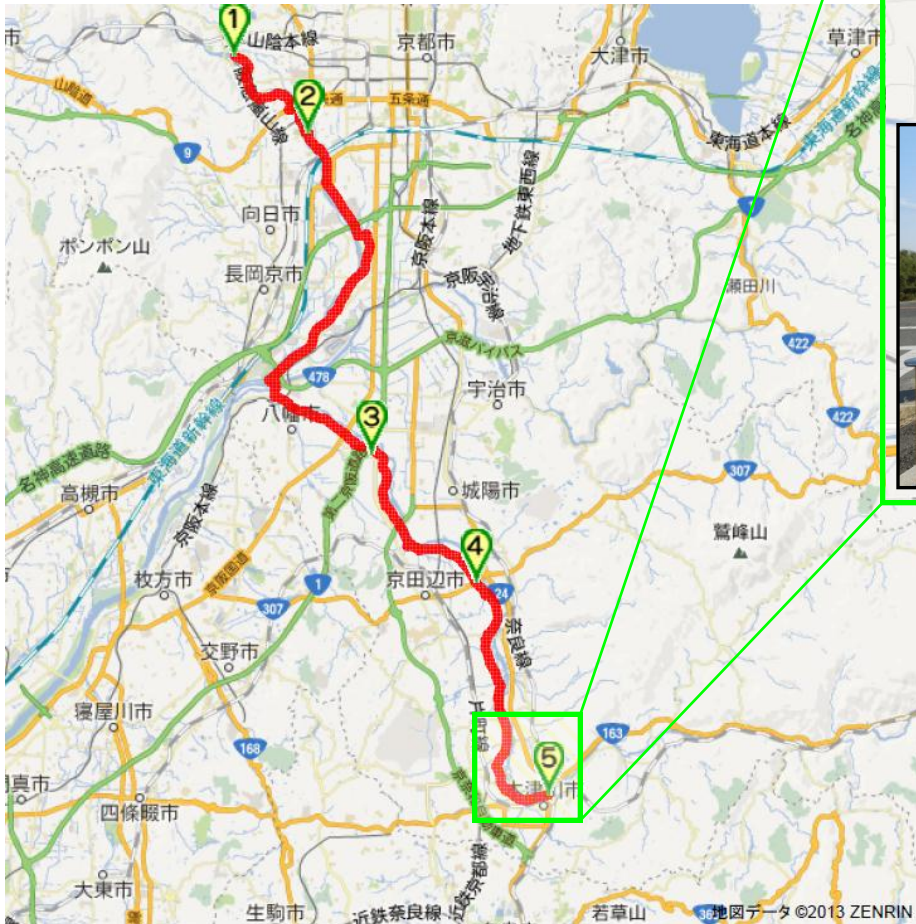
上粕南部茶問屋ストリート整備調査研究会報告書(平成15年3月)
図3-6 上粕南部地区 伝統的木造建築物保全度分布図

Ⅱ 事業の背景(地理的背景)

府道京都八幡木津自転車道線

起点:嵐山(渡月橋) ⇒ 終点:木津川市(泉大橋)

全長:約45km(幅員3m)



○「茶問屋街」は、自転車道の起終点から泉大橋を渡った対岸に位置(約0.5km)

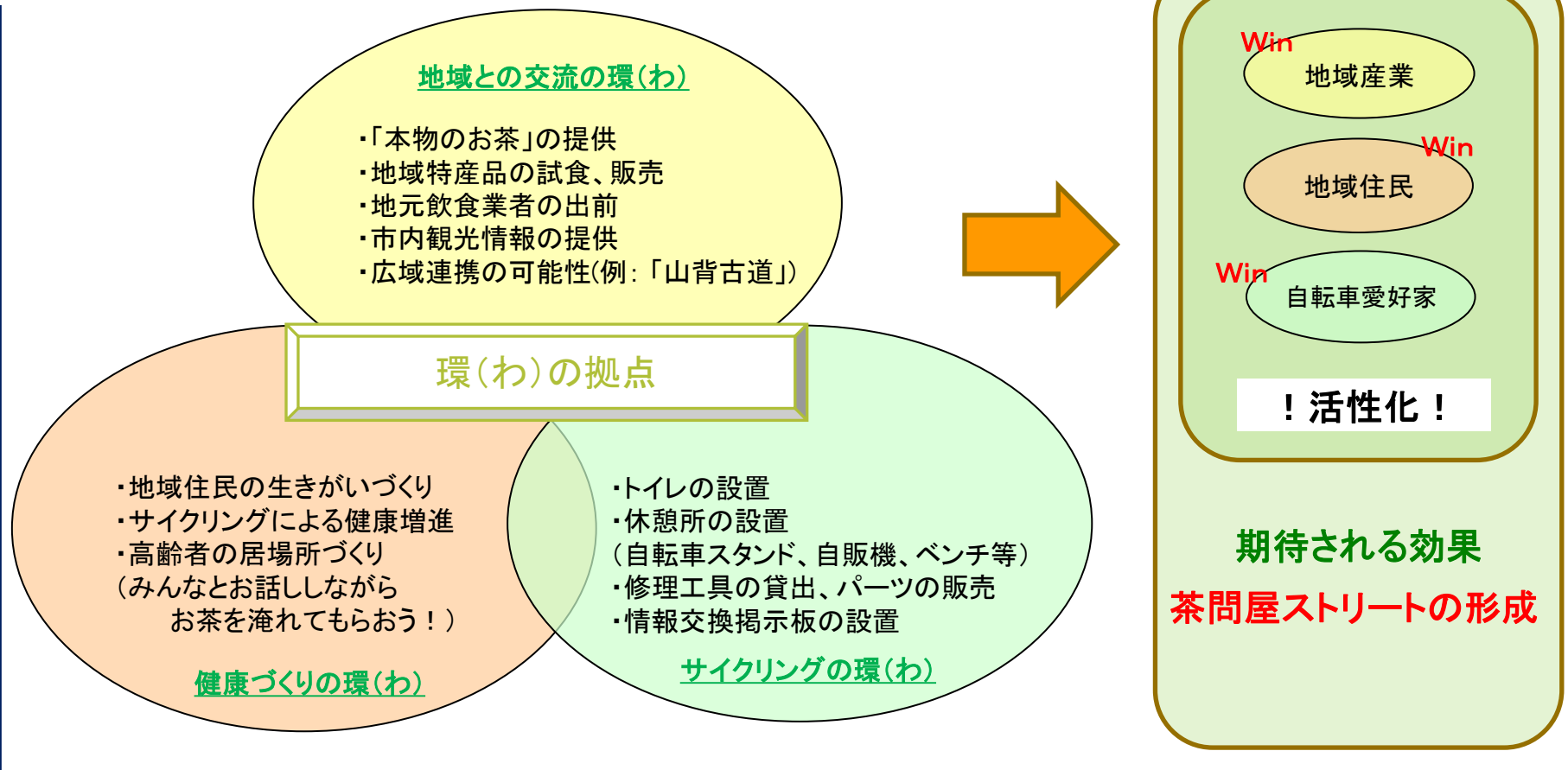
○自転車道の利用は増加傾向にあるが、近隣に沿道施設(トイレ、休憩所など)がない

Ⅱ 事業の背景(地理的背景)

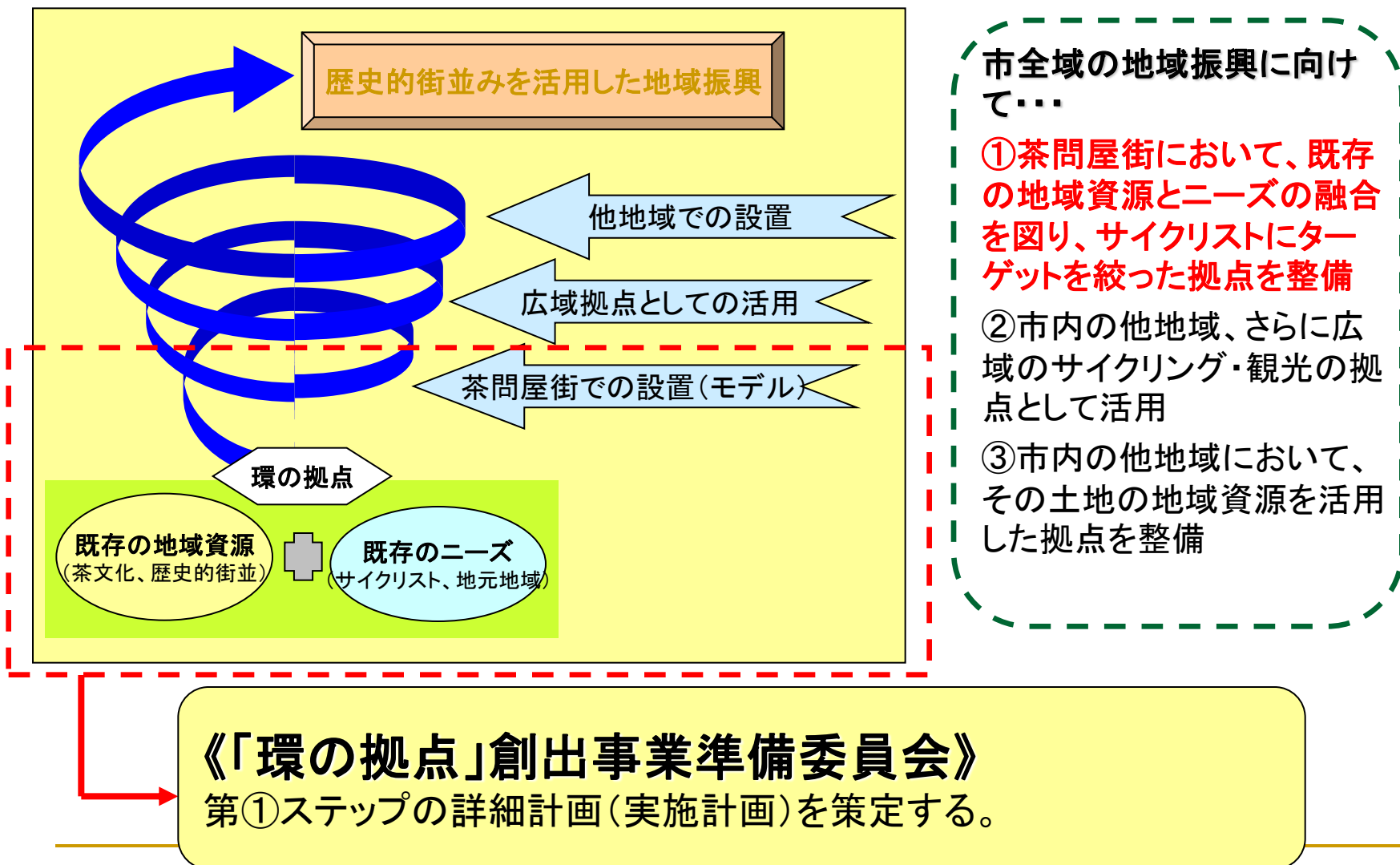


Ⅲ 職員提案の概要

第1回職員提案制度で提案
(アイデア賞受賞)



Ⅲ 職員提案の概要



IV 委員会の主な検討事項

議 題	内 容	時 期(予定)
施設選定	どこに拠点を整備するの (利便性、安全性、実現性、経済性)	第2回
設置方法	どのような方法で設置するの (購入or賃貸、設置主体)	第2回
導入機能	どのような機能を組み込むの (トイレなどの設備面、お茶提供などのソフト面)	第2回、第3回
運営主体	誰が運営するの (単一組織or実行委員会、構成員)	第3回
運営手法	どのような方式で運営するの (施設貸付、運営委託、民設民営)	第3回
広報戦略	どのような方法でPRするの (利用可能な広報媒体、イベント)	第3回、第4回
設置財源	設置財源は誰が負担するの (関係者の負担、国・府の補助金等、市)	第4回
運営財源	運営費は誰が負担するの (採算性、外部資金)	第4回

※必要に応じて第5回を開催

V 委員会のスケジュール

	H24.12	H25.1	H25.2	H25.3	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10
委員会			第1回	第2回		第3回	第4回	中間答申		第5回	答申
市民等				自転車利用者アンケート					パブコメ		
事務局		委員ヒアリング	アンケート準備	アンケート集計			中間案政策会議	パブコメ広報準備		パブコメ集計	事業計画政策会議
その他	条例・予算成立										事業予算編成

自転車利用者アンケート調査

木津川市環の拠点創出事業準備委員会事務局
平成25年2月14日－第1回委員会

I アンケートの目的及び対象

【目的】

自転車利用者のニーズを調査し、拠点施設の導入機能や広報戦略の検討資料とする。

【対象】

- ①サイクリングクラブ会員
- ②サイクルショップ利用者
- ③市ホームページ等を閲覧された一般の
自転車利用者

※目標数：100

Ⅱ アンケートの実施方法

【配付・回収方法】

- ①サイクリングクラブを經由して配付・回収
 - ②サイクルショップへの配架・回収
 - ③市ホームページへ掲載、協力団体へリンク
- ※詳細については、今後、関係団体等と調整予定。

【実施時期】

平成25年3月上旬

Ⅲアンケートの内容

項 目 【 】はアンケートの問番号	理由・活用方法
活動頻度 (サイクリングに出かける頻度【1】、自転車道の利用頻度【2】)	需要調査 (来場者予測)
行程 (目的地【3】、休憩地【4】、利用施設【5・6】)	範囲設定 (広報範囲、モデル施設)
利用意向 (施設の必要性【7】、位置の妥当性【8】)	需要調査 (他地域への応用)
導入機能 (施設【9】、設備【9】、サービス【10】)	導入機能選定 (施設整備の優先順位)
サイクリングコースの設定要素 (コース特性【11】、付加価値【11】)	利用促進策 (モデルコース設定)
情報取得ツール (何からサイクリング情報を取得されているか【12】)	広報戦略 (広報媒体の優先順位)
消費額 (1行程の予算【13】)	観光消費額調査 (収支計算)
属性(フェイスシート) (性別【14】、年齢【15】、利用歴【16】、自転車の種類【17】)	顧客特性 (クロス集計)